

2023 年度青島日本人会 総会 議 案 書

第 1 号議案 2022 年度事業活動報告の承認

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 2022 年度 会計報告の承認

第 3 号議案 2022 年度 会計監査報告の承認

第 4 号議案 2023 年度 理事及び監事選任

第 5 号議案 2023 年度 活動計画の承認

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 2023 年度 会計予算の承認

以 上

第1号議案

(1) 2022年度活動報告(全般)

青島日本人会会長
本多 亮

1. はじめに

青島日本人会会員の皆様には日頃より日本人会の運営・活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度の本総会は、コロナウィルス感染拡大の影響で、オンライン開催となりましたが、本年度は再びこうして会場に集合しての総会を開催出来ます事、大変嬉しく思います。

振り返りますと、2022年度は激動の一年であったと思います。何よりゼロコロナを貫く中国政府の指示により、PCR検査を受ける頻度は高まり、コロナ感染者が発生した情報があるとそれを恐れ、混乱した時期を過ごしました。また昨年12月に突如管理ルールの変更により、あっという間に私たち日本を含め、殆どの住民がコロナに感染致しました。皆様ご本人、企業の従業員の方々、ご家族の多くも感染し、大変不安の日々を過ごされたと思います。

2. 2022年度青島日本人会活動

上述の通りコロナウィルスに大きく振り回された1年で、青島日本人会が企画しておりました運動会や納涼祭の行事は中止にせざるを得ませんでした。しかし、2022年は「日中国交正常化50周年」という節目の年であり、早くから準備を開始し、青島日本総領事館と共催しました2022年9月の「日中国交正常化50周年レセプション」及び、10月の「日中国交正常化 青島ウォーク50」イベントをコロナ流行の間隙を縫う形で実行する事が出来ました。レセプションは中国地方政府関係者と共に日中50年の歩みを振り返り、レセプションは規模を予定より縮小しましたが、日本人参加者と中国人参加者が共に青島の海辺を8.88Km歩くという記念すべき交流の会となりました。改めてこれらの活動にご参加頂きました皆様、ご支援頂きました皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

今後もこの青島日本人会が、会員日本人に皆さま、ご家族、日系企業の安全・快適な生活と、円滑な企業活動の為にプラットフォームとなる様努めて参りますので、引き続き、積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 中原 伸二

1. 活動実績報告

年度5回(6月開始、偶数月開催)の商工会セミナーを計画致しました。しかしながら、コロナ防疫政策の厳格化並びに感染爆発により1回は中止、1回はオンライン実施となりました。回数は少なかったものの、共催のJETRO様や総領事館様のご尽力により素晴らしいセミナーとなりました。また、セミナー会場並びに懇親会会場を一部初めてウェスティンホテルにしました。遠方からご参加の会員様も多々いらっしゃり会員間の交流にも役立ちました。

2. セミナー開催実績

	日付	講師	内容	共催	会場参加	オンライン参加	合計
1	6/10(金)	PWC(渡部寿様)	いま日系企業が把握しておきたい「中国会計・税務の基礎と中国実務の留意点」	JETRO	60	—	60
2	8/12(金)	立動法律事務所(RIDRALAWFIRM) 代表弁護士 章 啓龍	「事例から学ぶ労務管理のリスクポイントとその対策」	JETRO	56	—	56
3	11/11(金)	日本貿易振興機構(ジェトロ)石川様 財務省 税関EPA/原産地センター 出口雅也様	「ジェトロ職員と日本税関職員によるRCEP活用セミナー」	JETRO	—	26	26
4	12/9(金)	Taikoo(Shandong) Aircraft Engineering Co., Ltd.	航空機整備ドック見学ツアー(中止)		—	—	—
5	2/10(金)	森・濱田松本法律事務所(森様)	「データ・個人情報・ネットワークの規制に関する実務上の諸問題と対応」	日本国総領事館	48	—	48

《食品部会》

部会長 滝浪 晋

1. 2022年度活動報告概要

2022年度は、中国国内で新型コロナウイルスが拡大し、例年実施していた工場見学、セミナー等の活動を行うことができませんでした。

一方で日系食品企業の中国内販拡大、原材料確保支援のためにJETRO青島事務所が主催した商談会に、威海市、濰坊市で参加しました。

ご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

2. 活動実績

「山東省・日中企業(食品加工分野)ビジネス商談会」

概要: 日系企業の内販拡大、現地での原材料等調達力強化を目的に、日中関連企業

が参加する商談会。

開催日時：2022年8月5日

場 所：威海国際経貿交流中心

開催日時：2023年3月10日

場 所：濰坊富華大酒店

3. 2023年度の活動方針

2022年度は、コロナの影響により、食品工場等の見学会の開催は困難であったことに加え、部会員同士の交流にも制限が生じていましたが、2023年度はこうした制限も緩和されるため、人的交流を含む活動を積極的に再開して参りたいと考えております。特に、部会員企業の共通課題である中国国内への事業拡大を念頭に、地元企業との関係強化を目的とした商談会、展示会等のイベントに積極的に参加したいと考えております。

また、2023年度は大連商工会食品部会等、近隣の食品部会との相互会社訪問、情報交換会等を開催し、食品安全関連法規、市場動向等に関する情報を共有するとともに、部会員同士のビジネスの活性化につなげて参ります。

情報発信については、引続き、在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所等と緊密に連携し、部会員の皆様に有益な情報を提供致します。

今年度は、こうした方針のもと、食品部会としての活動を推進していく所存ですので、引続きよろしくお願い致します。

《繊維部会》

部会長 青木 功

1. 部会開催状況

2022年度は21年同様に新型コロナウイルスによる影響がありましたが懇親会と工場見学の2回の活動を実施しました。

2. 活動内容

2022年1回目の活動として6月17日（金）に懇親会のみ開催。

2回目の活動は異業種生産工場見学として10月28日（金）にライオン日用化工様の工場見学及び懇親会を実施しました。

3. 2023 年度の活動方針、抱負

コロナの制限が撤廃され日本への往来も活発になった事もあり、多くの企業で人事異動があるので 23 年度 1 回目の活動としてセミナー+懇親会または懇親会だけでも実施したいと計画しております。

2 回目活動は副部会長の山部様と相談して工場見学などを秋口に計画しております。

3 回目は部会内の意見を参考にして繊維に関連するセミナーと新年会を予定しております。

先ずは新しい顔ぶれでの懇親会をなるべく早く開催したいと考えています。

《機械・電機・化学部会》

部会長 端 彰一郎

1. 総括

2022 年度は、新型コロナウイルスの感染影響が続き、上海市ロックダウンなどの各地で強力な感染防止対策が実施され、青島市即墨区でも 9 月にロックダウンとなり企業活動にも影響が生じました。かかる状況から、2022 年度も、部会としての全体活動は見送りといたしました。

2. 2023 年度の活動について

3 年間に亘った新型コロナウイルスの影響が解消したことから、全体活動を再開させたいと思います。この 3 年間で各企業様の担当者様、状況等も変わっていると思われまので、まず 4 月 25 日に部会懇親会を開催（既にご案内済み）し、活動再開の第一歩を踏み出す予定です。従前より考えておりました通り、各種製造業の企業様で構成される当部会では、生産現場力強化の共通課題である「安全・防災・環境」「CSR・コンプライアンス」「品質管理」「ナショナルスタッフ人材育成」といったキーワードをテーマに活動して、企業様相互の交流促進と情報共有化を図りたいと考えております。

《流通サービス部会》

部会長 大塚 智

1. 総括及び 2022 年度活動

流通サービス部会は運輸物流、倉庫、小売、各種サービス（医療、食事、ソフト、人材派遣等）、金融と言った一括りで括れない会員企業様が集まっており、約 100 社様にご加盟頂いております。多種多様な会員企業様の「よろず報告」（企業紹介）を基調として様々な会員企業様の運営実態と問題に触れる、また、それらに対する皆様か

らの参考意見の提示、アドバイスなどを交換する、と言った内容で「懇親・交誼」をベースに活動しております。

2022年度は、5月に懇親会、12月に空港・RCEPセンターの施設見学会を企画しました。5月の懇親会は29社/36名様にご参加頂き大変な盛会となりました。12月の施設見学会は残念ながら新型コロナの影響により参加予定者を中心とした懇親会のみで開催となりましたが、17社/19名様にご参加頂き懇親を深めると共に、会の中でANA様から空港のご案内・質疑応答のご協力を頂き、充実した内容となりました。

2. 2023年度活動について

2023年度は、部会長を岡本理事に交代させて頂き、新体制の下、新型コロナによる制限が無い中、流通・サービス部会としてより会員企業様の様々なニーズにお応えし事業活動のお役にたてるような活動をして参りたいと考えています。具体的には、懇親会・施設見学会等年3回程度の活動を予定しており、第1回は5～6月に新規に赴任された方々にもご参加頂きやすい形での懇親会を開催したいと考えております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 荒木 信太郎

1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して、各種の親睦活動、生活文化関連の取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「六つの同好会（2023年4月1日現在）」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

2. 主な行事活動

2022年度は、断続的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、予定していたいくつかの催し物を中止としました。然しながら2023年1月中旬以降状況が大幅に改善され、会員の皆様のご支援・ご協力を賜りながら日本人会新年会を開催することが出来ました。以下にて詳細をご報告致します。

①青島日本人会運動会

6月25日（土）に青島日本人学校体育館にて開催すべく準備を進めておりましたが、会場への来校人数制限があり、残念ながら中止と致しました。

②納涼祭

8月20日（土）に予定しておりましたが、参加者の安全を保ちながらの開催が難しいとの判断から中止と致しました。

③日中国交正常化50周年記念レセプション 9月6日（火）

在青島日本国総領事館と青島日本人会共催のレセプションにて、日本人学校生徒による和太鼓演奏のアレンジを致しました。疫病蔓延が落ち着かぬ中、当日現場でのPCR検査が求められるなど困難がありましたが、総領事館の多大なるサポートの下、無事に演奏を終えることが出来ました。かつてない程の会場規模、大勢の参加者の前で演

奏を披露でき、日本人学校教職員・生徒の皆様から大変貴重な経験となったとお礼の言葉を頂きました。

④新年会 2023年2月25日（土）

当初クリスマス会として2022年12月に開催予定でしたが、中国各地における感染爆発に伴い直前に延期を決定致しました。年明け以降、状況が徐々に良くなっていく中で、企画・準備を進め、延期開催を致しました。

昨年度同様の海天大酒店にて、総勢約270名の会員の方々にお集まりいただき、正午から午後3時半まで、日本人学校生徒の元気な和太鼓や、〇×ゲーム、バンド演奏、ダンスタイム、プレミアム抽選会と、大変楽しい時間を過ごすことができました。

今回84社の会員企業様から沢山のご協賛を頂き、参加者全員に素敵な品物をお渡しすることができました。また、多くの会員の皆様、日本人学校関係者の皆様、公認同好会の方々に事前準備や当日の運営にご協力を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

3. 総括

2022年度は新型コロナウイルス蔓延により様々な判断や決断を迫られた一年となりました。ただ、最後に新年会を盛大に開催することが出来たのは、来年度に繋がる分岐点になったのではないかと考えております。コロナ禍が続く厳しい経済環境の中、多くの景品をご提供頂いた会員企業様、ご参加頂いた皆様に対し、あらためて御礼を申し上げます。

引き続き生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したく宜しくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては、情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、先月より日本人学校内での貸し出しを再開致しました「ちんたお文庫」を運営しております。充実した文庫数、蔵書環境が整っておりますので、是非ご利用ください。

更に婦人会の活動、ゴルフ・テニス・ソフトボール・卓球・サッカーの体育会系同好会と写真同好会の活動の支援も行っており、それらの活動報告を以下に載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

《ちんたお文庫活動報告》

役員 向井・村上・磯崎

文庫蔵書総数	6094 冊（およそ）
新規会員年間総数	8 人（2 月、3 月のみ）
年間利用者延べ数	46 人（2 月、3 月のみ）
寄贈本年間冊数	275 冊（登録済みの本のみ）

<役員活動内容>

- ・情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整（月 1 回）
- ・『ちんたお文庫便り』の掲載（2016 年 4 月より季刊発信）
内容：おすすめ児童書、新着登録本（休館中は所蔵本）の紹介、利用案内等

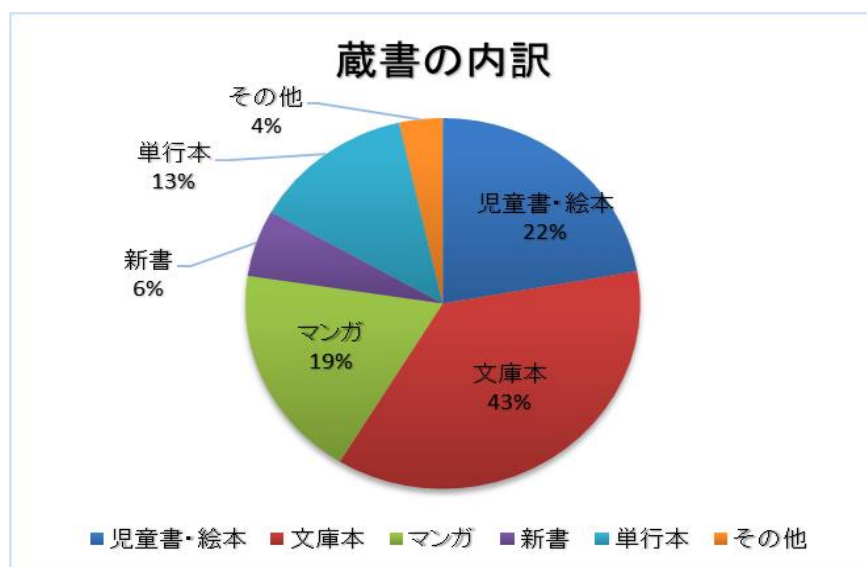
<今年度活動報告>

- ・土曜、日曜の開館（2 月 26 日～開館、アルバイトによる運営）
- ・日本人会事務局での絵本出張貸し出し
- ・ボランティアによる図書整備活動（2023. 3. 9）

<総括>

休館が続いていたちんたお文庫ですが、2022 年度 2 月からようやく開館となりました。ボランティア募集には多くの参加を頂き、3 月 9 日のボランティア活動では、休館期間中にお預かりした寄贈本の登録や、図書の整備を行うことが出来ました。小さいお子さんのいるご家庭が利用しやすい様、日本人会事務局の一画に置かせていただいた「絵本貸し出し出張所」は一定の利用者があり、要望もあることから継続していくこととなりました。

蔵書の総数や内訳につきましては次のとおりです。（2023 年 3 月時点）

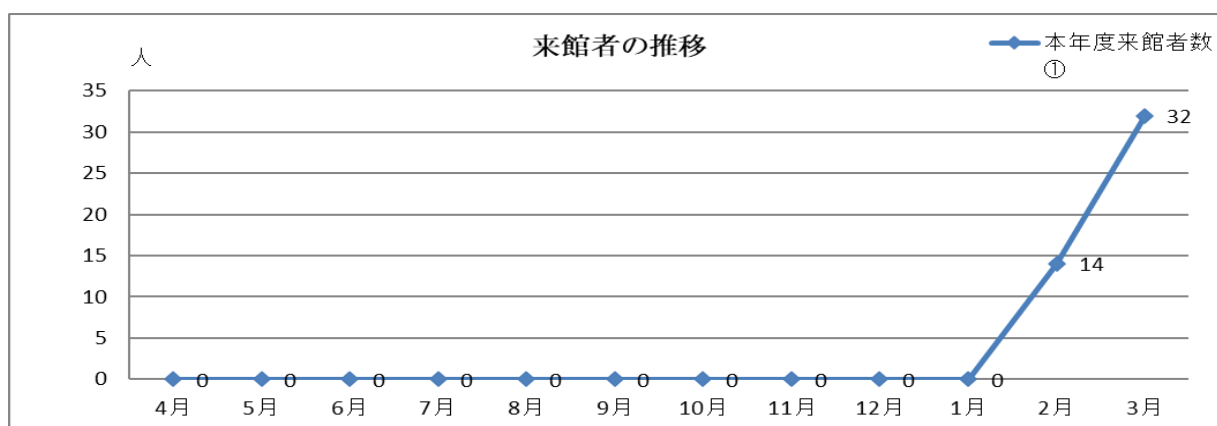


＜次年度への課題＞

今後の課題としては、ちんたお文庫を多くの方に知っていただくこと、また、利用しやすくすることなどです。コロナ渦の休館で周知が十分に出来なかったことでちんたお文庫をご存じない方もいらっしゃいますし、日本人学校の校内にあるため、学校関係者以外の方からは「ちんたお文庫があることを知らなかった」「どうやって入ったらよいか分からない」「休日の学校には入りづらい」という声があるようです。ちんたお文庫の存在のほか、アクセスや入館方法を周知していくことでご利用を促進したいと思います。また、ボランティアメンバーの増員は、幅広い方への周知や来館者を増やすことにもつながりますので、より多くの方々にご協力いただけるようにお声がけしていきたいと思います。

そして3月のボランティア活動では、休館中に寄贈頂いた書籍の登録作業が終了しなかったため、引き続き役員とボランティアで作業を進め、ちんたお文庫の書籍の充実、環境整備を進めていきたいと思います。

ちんたお文庫では、絵本や児童書はもちろん、ビジネス関連の書籍や新書、文庫本など幅広いジャンルの本を寄贈していただいております。今後も青島在住の皆さまに気持ちよく利用していただける図書館になるよう努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



■2022年度 ちんたお文庫 来館者の月別推移

《情報誌「月刊青島」》

編集担当 事務局

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・ジェトロ・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、

「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、「婦人会通信」及び会員の動向等の情報を掲載しています。また「ふるさと自慢」といった連載もあります。

とはいえ、最近ではネット上で日本語の読み物に接する機会は以前とは較べものにならないくらい増えているため、「月刊青島」を読んでもらっている会員はかなり減っているように感じております。

「月刊青島」が日本人会会員に興味を持っていただけるにはどうすればいいか、ぜひ皆様のご意見をお聞きしたく思います。また、旅行記、読書の感想等、皆様の投稿もお待ちしております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

《婦人会》

代表 占部 葉子

1. 2022 年度の報告

2022 年度は前年度に続き、コロナに対する規制は厳しいものがありましたが、その間をぬって、ワクワク企画と称するいくつかの活動を行うことができました。

まず 5 月には、例年行ってきた総会に代わって、海景花園大酒店でランチ会を行い、最初の顔合わせをいたしました。形式も従来のような格式ばったことはやめて、自由に会話を楽しんでいただく形にしました。

7 月には例年恒例のバスツアーを行い、黄島にあるライオン日用化工様の工場を参観させていただきました。工場見学の後には「涵碧楼酒店」でビュッフェのランチを楽しみました。

9 月はまた近場の美味しいものを食べるランチ会にしようということで、ノースカフェさんをお願いして特別メニューを準備していただきました。

11 月にはお料理教室を行い、中国人の講師の先生をお招きして、水餃子の作り方を勉強しました。

12 月はクリスマス会の月なので、2021 年度に引き続き「Bistro the Knife」さんで食事をしながら歓談とゲームに盛り上がりました。シェフの胡さんが準備してくださったメニューはとても豊富で、大変満足しました。

年が明けた 2 月にはシャングリラホテルでアフタヌーンティの集まりを開催しました。十数名で食べるアフタヌーンティの様子は圧巻でした。

これらの活動は、不定期ですがブログにもアップして紹介しております。

2. 2023 年度の抱負として

2022 年度はそれまで 3 名で行ってきた役員制をやめて、人数特定なしのお世話係制に変更しました。そのおかげで活動も自由で盛んなものになったように思います。2023 年度も引き続き、お世話係のみなさんに頼りながら、自由に緩くて気軽に楽しめる婦

人会を作っていけたらと思っています。年に数回ある活動も、関心のあるものにだけご参加いただければ結構ですので、まだ会員になったことのない方も、気軽にまずは非会員でお試しの参加をしていただければと思います。

《ゴルフ同好会》

会長 酒井 康雄

1. 活動状況報告

2022年度5回のコンペの予定をしておりましたが、3月はコロナの影響で中止。5月28日第139回華山新コース参加者38名、7月9日第140回臨海温泉ゴルフクラブ参加者31人、9月はコロナの影響で中止、12月13日第141回華山新コース参加者30人となり、計3回のコンペを行いました。12月は総領事杯ということで井川原総領事に参加頂き異風堂で納会を行いました。

2. 2022年度の活動について

今年度も引き続き「敷居の高くない、誰もが楽しめるようなコンペ」を開催していくとともに、ゴルフレッスンや若い方やゴルフの経験の少ない方にも積極的に参加していただける企画を行っていく予定です。

ゴルフ同好会は「上手な方ばかり」「ルールやマナーが今一つ解らない」等で参加を躊躇されている方は是非ご連絡ください。

青島でのゴルフライフが少しでも充実したものになるよう、皆様の御協力のもとで運営していきます。

- ① 03月25日(土) 華山ゴルフ新コース 済
- ② 05月27日(土) 未定
- ③ 07月15日(土) 未定
- ④ 09月23日(土) 未定
- ⑤ 12月9日(土) 未定

連絡先：内藤 携帯 138-0895-1321

メール y.naito@qdsankyu.com.cn

《テニス同好会》

会長 工藤 翔太

1. 同好会概要

目 的： テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る

会員数： 2023年3月末現在、48名(男性27名/女性21名)にて運営

(大人30名、高校生以下18名)

会 費： 1,440元/半期(高校生以下は720元)2023年度はやや値下げ予定

活動場所/時間： 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 8:30~12:30

練習内容： 8:30~10:30 レベル別スクール形式での練習中心(子供・保護者メイン)

10:30~12:30 対人形式での練習や試合形式での練習中心(大人メイン)

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2. 年間活動

定期活動： 毎週日曜日の定期練習

イベント： 10月 ハロウィンテニス

12月 チーム内紅白戦、クリスマス会(コロナの影響により中止)

対外試合：

4月 日韓交流戦①(韓国チームとの交流戦)

5月 日韓交流戦②(韓国チームとの交流戦)

5月 日中交流戦①(中国チームとの交流戦)

10月 日韓交流戦③(上海日本人クラブ及び韓国チームとの交流戦)

11月 第44回秋季クラブ対抗戦(上海)コロナの影響により不参加

1月 日中交流戦②(中国チームとの交流戦)

3月 第45回春季クラブ対抗戦(上海)

*送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

【収支】

前年度繰越金 25,308元

22年度収入 126,875元

22年度支出 100,739元

次年度繰越金 51,444元

3. 総括

2022年度は、コロナ禍の生活にも慣れた反面、規制緩和に伴い中国全土で大規模なコロナ感染があり大変な1年でした。コロナの影響で活動が出来ない時期もありました

が、毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。本年度も昨年に引き続き、上級者から初中級者、小中学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入会され、活発にテニス活動を続けております。

メンバー一同は、日々技術向上を図っております。上級者については、昨年度に引続き中国チームや、韓国チームとの交流試合を複数回行いました。また、上海の日本人クラブとの交流も増え活発な活動を行うことが出来ました。

3月は、上海開催の日本人団体戦では39チームが集まる中、予選を突破し4大会連続で決勝トーナメントに進出することができました。また、初中級、上級者ともに、日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及に並行して力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やハロウィン、クリスマス会などのイベントを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2023年度も、昨年に引き続き上級者は各大会で上位を目指す、初中級者は、少しでもテニスを通じてスポーツを楽しんで頂けるよう、より良い運営を心掛けて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

《ソフトボール同好会》

会長 平井 一康

1. 同好会概要

2022年をもって創部25年目を迎えさせて頂きました歴史の有る同好会です。青島日本人会の目的・規約にのっとり、「日本人相互の親睦・交流の促進」「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的として、ソフトボールを中心に同好会活動を推進して参りました。

2022年12月末現在32名（男性30名・女性2名）の会員が在籍し、同好会会長、事務局、運営、会計、渉外、チームキャプテン（2名）の役員を配置し、同好会を運営しています。

活動場所：青島市 中山公園サッカーグラウンド

活動時間：毎週日曜日 午前8時～10時

年会費：1200元/（前期600元・後期600元）

2. 年間活動

2022年度は1月に1年間のリーグ戦における所属チームの発表が新年会にて行われ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となりましたが4月に無事開幕を迎え

ることができました。青島では前後期リーグ戦を滞りなく開催することができましたが、例年おこなっていた上海、杭州との交流戦に関しては、2022年度は、新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。また年1回おこなっていた黄島チームとの交流戦を、2022年度は6月と10月の2度開催することができました。年間最後の活動月となる11月には2週に渡る優勝決定戦を行い、2022年年間優勝チームを決定しました。さらに12月には青島市で開催される青島市ソフトボール大会には青島DRUNKERS焼酎チーム、青島DRUNKERS清酒チームの2チームで出場し、優勝は辛くも逃しましたが、焼酎チーム準優勝、清酒チーム第三位の成績にて終了致しました。そして年度のしめくりである納会を開催し、優勝チーム、優秀選手の表彰を同好会として行い、1年間の活動を無事に終えることができました。

3. 特別活動

毎週のソフトボール活動以外では、6月と10月に黄島チームと交流試合を行い、試合後は懇親会を開催して親睦を図り、12月の青島市ソフトボール大会に出場致しました。ソフトボール以外では、ゴルフコンペやバドミントン、会員の家に集まったのホームパーティー（自家製次郎系ラーメン、お好み焼き他）を開催しました。

1月 新年会

4月 開幕

6月 練習・変則試合の活動／黄島チーム交流戦／ゴルフコンペ／ホームパーティ

10月 黄島チーム交流戦

11月 優勝決定戦

12月 青島市ソフトボール大会/同好会納会・忘年会

2022年度は帰任・異動に伴い17名の方が退会され、新たに8名の新入会員を迎える事が出来、会員は昨年度対比では9名減少しました。当同好会の活動におきましては、同好会会員の努力もさることながら青島日本人会、各企業様のご支援のおかげと感謝致します。2022年も大変有難うございました。2023年度も笑顔の絶えない明るく楽しい魅力的な同好会活動を推進して参ります。

《写真同好会》

会長 赤澤 陽平

1. 同好会概要

写真同好会では毎月一回撮影課題（テーマ）を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん青島」に掲載されます。

2. 活動報告

- ・10月15日に開かれました青島ウォークにて写真係として参加いたしました。
- ・10月29日、30日にイオンモールが開催されたJapan dayにて写真展を実施。
- ・上記以外に不定期ですが、撮影会や撮影旅行を予定しております。

写真撮影にご興味のある方（携帯写真を含む）のご参加をお待ちしております。

月	月例会テーマ		
4月	春	生活	自由
5月	元気	緑	自由
6月	猫	植物	自由
7月	青空	雨	自由
8月	雲	生き物	自由
9月	海	夜景	自由
10月	飛ぶもの	人	自由
11月	実り	携帯撮影	自由
12月	読書	秋	自由
1月	イベント	冬	自由
2月	生き物	モノクロ	自由
3月	空	ガラス	自由

《卓球同好会》

代表 占部 葉子

1. 同好会活動目的

- ①卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ②卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

2. 日常の活動

定例練習日：

毎週日曜日 15：30-17：30

会費の徴収：

会費としては、場所代として当日参加者から、1人あたり30-40元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチにつ

いての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

3. 2022年度の活動状況

以前に行っていた平日夜の練習は、結局できないまま週末1回だけの練習となっています。当会は上海や蘇州のクラブとは異なり、学校での部活経験のない方が多く参加してくださっています。そのこともあって、外部との試合などはあまりアレンジすることができませんが、楽しくスポーツをするという点では、引き続き役割は果たしているかと思えます。

2022年度の最後の月である3月には、「全中国日本人卓球同好会合同合宿」が上海で開かれ、青島同好会からも6名が参加しました。かつ本年は例年に較べて青島同好会としては画期的な成績をおさめることができました。この合宿は、来年は蘇州で開催されますが、引き続き参加していきたいと思っております。

4. 2023年度の目標

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。よって、上手な人も、そうでない人もみんな楽しく練習とプレーができればと思います。とはいえ、本年は外部との試合も組み入れて、交流の輪を広げながら技術向上させて行くことも本年度の目標です。

会員 22名（2023年3月現在）

《サッカー同好会》

会長 浜崎 健一

1. 概要

2010年より活動を始め、2022年より青島日本人会公認同好会となった、日本人サッカーチーム（青島日本人サッカー部 GGJ）です。青島や山東省近隣都市在住の日本人や日本にゆかりのある中国人メンバーを中心に構成されており、毎週1回、主に中国人チームを相手に試合を実施しております。その他、華北地区の他都市の日本人チームとの交流戦や、韓国人チーム、欧米人チームとの交流戦などを実施しております。試合以外では、春節、国慶節などの長期休暇での遠征や、年末のGGJアワード（表彰式）、帰任者の壮行会など、交流イベントも実施しております。

2. 活動内容

日時：毎週日曜日午前中（8:30～12:00の間で2時間程度）

場所：工人体育场、第二体育场 等

試合：40分ハーフのフルコート

3. 2022 年活動報告

2022 年度はコロナ規制の影響で試合を組むことが出来ない時期があったものの、1 年間通して、対外試合 36 試合（15 勝 16 敗 5 分）と紅白戦 2 試合を実施することが出来ました。また、コロナ規制で遠方からの参加者が少ない時期には、市内メンバーでフットサルを実施し、技術の向上と連携の強化に努めました。華北地区（北京、天津、大連）の日本人サッカーチームとの交流戦である華北カップはコロナの影響で順延となり、開催することが出来ませんでした。（2023 年 7 月度開催予定）2023 年 3 月に、韓国人チーム、朝鮮族チームとの対抗戦である、キムチカップに参加をし、2 勝 2 分の成績で優勝することが出来ました。年末の GGJ アワードでは、得点王、アシスト王や、各メンバーからの投票により選出しました、GGJ 賞（ベストオールドプレイヤー）や MVP 等の表彰式を行いました。

4. 総括

2020 年に始まったコロナの影響を受け、大きく減少したメンバーも、2022 年に日本人会公認同好会となったことで、認知度が上がり、参加しやすい環境となったためか、新規参加者も増えており、現状 28 人前後の方々に参加して頂いています。青島市内のみならず、山東省の各都市の駐在員にも GGJ の存在が浸透しつつあり、諸城市や潍坊市などからの参加者も増えています。本年度の活動もコロナの規制がある中、皆様のご協力のもと、多くの試合やイベントを実施することが出来ました。上海のロックダウン中には、上海に戻る事が出来なくなった方々とも知り合い、一緒にサッカーが出来ました。改めて、サッカーというスポーツの裾野の広さを感じました。2023 年 5 月頃に、上海チームとの交流戦も予定しています。2023 年は華北カップを始め、各大会にも積極的にエントリーをしていきたいと考えています。怪我せず楽しくをモットーとしながらも、勝負にこだわり、多くの勝利を積み重ねていきます。

(4) 2022年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会
理事長 原 義信

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

2022年度も上海のロックダウンなどコロナ禍の影響により中国の日本人学校はどこも厳しい運営が続きました。青島日本人学校も短期間の臨時休業やオンライン授業を実施しましたが、当局との交渉や様々な工夫をこらし、中国の日本人学校の中で最も長期間対面学習をすることが出来ました。学校行事につきましても、3年ぶりに5年生の宿泊体験学習を実施し、運動会や学習発表会、卒業式も3年ぶりに来賓を招くなど、予定行事をほぼ全て実施する事が出来ました。体験学習など会員企業様の多数の協力を頂戴いたしました。

中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童生徒の育成を行う事が出来ました。

また、安全面につきまして、昨年度も中国国内で日本人学校に対する批判的な動きがありましたが、在青島日本国総領事館、公安当局等地元当局との連携により、生徒児童は安全に学校生活を送る事ができました。更なる安全強化の為に大使館、領事館のご協力のもと警備体制の見直しを行い、ビデオカメラの増設など安全の強化への取組も致しました。

学校財政についてですが、コロナ禍以降の児童生徒数減少は下げ止まりしたものの、50名～60名の在籍となっており学費収入に加え日本国政府からの補助金、皆様のご厚意によるご寄付も頂きながら運営を行っています。今後とも更に魅力ある学校運営に努め生徒児童数の増加に取り組みます。

昨年度は新型コロナウイルス感染の状況対応を含めて、日々学校運営に多大なるご支援とご協力を頂きました、在青島日本国総領事館、当地関連当局、青島日本人会会員の皆様には、この場をお借りし心より御礼申し上げます。また、渡邊校長先生をはじめ、離任された先生方においては、今までの日本人学校への多大な貢献に感謝申し上げます。留任される教職員の皆様には、難しい状況が続く中、児童生徒の育成、青島日本人学校の維持発展に、継続的なご対応に感謝申し上げます。

新年度、学校運営上の様々な難局を乗り越えるべく、取り組んで参ります。青島日本人会会員の皆様の引き続きのご支援を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議
- ・ 各種報告(校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他)

- ・ 学校を取り巻く様々な課題への対応

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催(年 10 回 オンライン含む)
- ・ 青島日本人学校入学説明会
- ・ 入学式、卒業式(当局指示により不参加)、学校行事陪席 など

【学校案内】

名 称:青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

住 所:青島市市北区同安路 56 号

学 費:入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月

(別途、スクールバス・PTA 会費他)

第4号議案

2023年度 青島日本人会 理事及び監事（案）

	氏名	所属企業名	役職
理事	青木 功	青島嘉都麗時裝有限公司	総経理
理事	荒木信太郎	日郵物流（中国）有限公司青島分公司	経理
理事	安藤 孝雄	青島誠誉食品検測有限公司	総経理
理事	今西 昭彦	新日清制粉食品（青島）有限公司	総経理
理事	大塚 智	みずほ銀行（中国）有限公司 青島支店	副支店長
理事	大芦 弘一	丸紅（青島）有限公司	総経理
理事	岡本 将紀	日本興亜財産保険（中国）有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	衣川 真吾	青島松下電子部品（保税區）有限公司	副総経理
理事	酒井 康雄	依摩泰（青島）商貿有限公司	総経理
理事	滝浪 晋	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	達下 篤	上海住友商事有限公司青島分公司	部門総経理
理事	谷 直知	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
理事	高橋 賢治	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長
理事	二宮 主税	青島扶桑精製加工有限公司	副董事長
理事	西原 典男	青島新東機械有限公司	総経理
理事	能勢 稔彦	伊藤忠（青島）有限公司	総経理
理事	端 彰一郎	東麗医療科技（青島）股份有限公司	総経理
理事	原 義信	三菱日聯銀行（中国）青島分行	支店長
理事	本多 亮	三菱商事（青島）有限公司	総経理
理事	山部 秀紀	カケンテストセンター青島試験室	室長
理事	横田 博文	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	吉川 明伸	日本貿易振興機構（JETRO）青島代表処	所 長
理事	吉田智久美	在青島日本国総領事館	首席領事
監事	片瀨 修	獅王日用化工（青島）有限公司	董事
監事	武田 栄作	青島泰宝美客食品有限公司	副総経理

第 5 号議案

(活動計画は 2023 年度の各候補により作成しております)

(1) 2023 年度事業活動計画 (全般)

青島日本人会会長
大芦 弘一

1. はじめに

過去数年間、我々の活動に常に負の影を落としていたコロナウィルス感染問題もようやく過去のこととなりました。本日からスタートする 2023 年度は、「完全正常化 1 年目」として、コロナ前に普通に行っていた日本人会の活動に戻す一年にしていければと考えております。まずその第一歩として、本日このように会場で総会を開くことができ、皆さまにお集まりいただきましたことに心より感謝を申し上げます。

2. 2023 年度青島日本人会活動

青島日本人会は本年設立 33 周年を迎えました。3 月末時点の企業会員数は 280 社、個人会員は 12 名の方にご登録頂いております。

昨年 12 月には、在青島日本国総領事館井川原賢総領事様から、青島日本人会のこれまでの日中友好への貢献と功績に感謝と敬意を表する在外公館長表彰が授与されました。今年「日中平和友好条約締結 45 周年」という節目の年でもあります。その記念行事として、山東省政府商務庁などが参画運営する「ジャパン・フェスティバル青島」の開催が予定されるなど、青島日本人会としても、日中平和友好条約締結 45 周年に関連したイベントへの協力や記念行事の開催を行って参りたいと考えております。

また、青島市政府、およびその他山東省内各都市政府、加えて地元の方々とも交流を図る事で、日中両国の友好関係を更に深めることに貢献できればと考えております。

3. 2023 年度活動計画

- ① 青島市政府、および山東省/地方都市政府との関係強化活動
- ② 会員企業が抱える問題の市政に対する陳情
- ③ 商工会セミナー/各部会セミナー等開催
- ④ 青島日本人学校の運営
- ⑤ 日中平和友好条約締結 45 周年記念活動
- ⑥ 在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所との連携による情報提供
- ⑦ 各種生活文化活動の実行

- ⑧ 当地企業との交流、ネットワーキング活動
- ⑨ 省内他都市日本人会との連携
- ⑩ 社会貢献活動

青島日本人会は、在青島日本国総領事館やJETRO青島事務所のサポートを頂きながら、当地の日本人および日系企業の安全かつ快適な生活と、円滑な企業活動の継続のためにお役に立てるよう、会員相互の親睦・福利の向上を図り、そして生活及び企業活動などに必要な情報を提供するプラットフォームとして努めております。会員の皆さまには日本人会の活動に対し今後も更なるご支援、ご協力を賜り、併せ日本人会活動への積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。

(2) 商工会

商工会会長
高橋 賢治

1. 2023 年度活動方針

商工会とは「青島市及びその周辺に所在する日系企業を中心に結成され、青島日本人会規約第 2 条にあるように「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供すること」を目的にして活動しています。（青島日本人会ホームページより）」

その目的を実行すべく当会は、「食品部会（登録企業数 83 社）」、「繊維部会 68 社）」、「機械・電気・化学部会（同 108 社）」、「流通・サービス部会（同 88 社）」の四部会から構成されています。

足元の環境ではロシアによるウクライナへの侵攻も続き不安要素もありますが、4 月より中国から日本入国者へ水際対策の緩和が実施され、待ち望んでいた国境のオープンとなり交流再開に向け踏み出しコロナ禍から平時への移行となります。商工会としても、よくなりつつある環境を逃さないように環境を見極めながら、青島近隣地区をはじめ、省内各地の商工会部門の皆様と政府政策や社会・法律・経済等の情報共有し企業様への貢献をしてまいりたいと思います。

今年度の活動について、特に年度前半はコロナの感染状況や中国政府の防疫政策に大きく影響されるかと思いますが、商工会四部会での情報交換会、定期的な交流会他、以下計画しております。

2. セミナー開催

セミナーは定期的（年間 5 回）の開催を予定しています。商工会単独開催他、JETRO 青島・日本国総領事館と共催とし、会計や法律、政治、社会など多方面にわたるテーマにて開催いたします。セミナー後の懇親会も予定しており、会員企業様のご参加をお待ちしております。

3. 各部会活動

従来実施しておりました施設見学等は感染状況を見ながらの計画となります。「食品」「繊維」「機械・電機・化学」「流通・サービス」それぞれの部会の個別活動として防疫体制を見極めつつ各種商談会や懇親会など実施可能な部分から始め、会員様との親睦・情報交換・交流の活性化に努めます。

4. 政府関係機関、地域社会との交流

山東省商務庁、各市商務局他、青島市の各政府機関および日本国総領事館、JETRO と良好な関係を維持します。また、山東省内周辺都市の日本人会商工部門とコミュニケーションを密にし、会員様の企業活動向上の一助となるべく努力いたします。

(3) 生活文化会

生活文化会会長

荒木 信太郎

1. 2023 年度の活動方針

生活文化会は、年間行事・同好会/婦人会・情報発信を通じ、日本人会会員の皆様の充実した生活を実現することを目的として活動しております。2023 年度も会員の皆様のご意見、ご協力を頂きながら、お互いにコミュニケーションを図ることができる機会を提供していきたいと思っております。

2023 年度は、これまで懸念となっていた新型コロナウイルス蔓延による集会等の開催可否・会場確保・人数制限等が、大幅に改善され、会員の皆様の感染に対する不安も解消された中で活動が実施できると考えております。

会員の皆様には例年多大なるご支援、ご協力を頂き誠に有難う御座います。今年度も宜しくお願い申し上げます。

2. 主な活動内容

- ① 青島日本人会運動会（2023 年 6 月 17 日予定）、納涼会（2023 年 8 月 26 日予定）、クリスマス会（2023 年 12 月 16 日予定）の企画実行
- ② 社会貢献活動の実施
- ③ ちんたお文庫運営に対する支援
- ④ 各同好会・婦人会への活動支援
2023 年度同好会
・ゴルフ、テニス、ソフトボール、卓球、写真、サッカー
- ⑤ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信

(4) 青島日本人学校運営理事会

青島日本人学校運営理事会
理事長 原 義信

青島日本人学校は、文部科学省が示す学習指導要領に準拠し、日本の小中学校と同じ卒業資格が得られる青島日本人会が運営している私立小中学校です。(2000年補習授業校としてスタート、2004年開校)

新年度は、新しく赴任された織田校長先生の指導のもと、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」、2019年度からの中期目標である「多様性を理解し、自他を尊重しながら切磋琢磨する児童生徒の育成」をめざします。

「教育の機会均等」の精神に則り、日本国民としてふさわしい、質の高い教育を行い、そして青島の地域性を活かした教育課程を基礎に、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成に重点を置いて参ります。

また、生徒児童が安心して通学・授業を受ける事が出来る様、今年も安全対策に留意して参ります。

さて、今年には青島日本人学校開校20周年を迎える節目の年となります。また、コロナ政策の変更により、授業や学校行事も通常に戻る事ができると思われれます。青島日本人学校運営理事会は、学校活動を全面的に支援し、さらなる成長の為の議論を活発化させ、より良き学校運営に努める所存です。

青島日本人学校の特徴は、少人数を生かした一人一人に合わせたきめ細かい教育。学年の垣根を超えた全校がまるで兄弟・姉妹のようお互いを支え合う文化。現地校との交流や豊富な企業訪問・職場体験などを通じて育まれる、文化や習慣を理解・尊重する心の育成。日本を俯瞰する能力、日本独自の生活習慣や文化・伝統の習得などかと思ひます。また、英語教育とITC教育に力点を置いており、これらを合わせるとグローバルに活躍できる人材育成に最適な環境だと思ひます。日本人会会員のみなさまにおかれましては、小中学校へ就学予定のお子様を帯同される社員・職員様に対し、是非、青島日本人学校を推薦頂きたく存じます。

理事会一同、精一杯努力して参りますので、新年度におかれまして日本人会会員及び、関係者の方々のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第 6 号議案

2023 年度予算案

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

2023 年 4 月 15 日

(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	809,134	1. 事務局費	305,640
		2. 商工会活動費	65,000
		全体会	33,000
2. 2023年度会費収入見込	580,000	部会	20,000
法人会員(285社*2100元)	577,000	地区分科会	12,000
個人会員(15*200元)	3,000	3. 生活文化関連費	91,000
		婦人会	3,000
3. 臨時会費(総会・クリスマス会)	105,000	ちんたお文庫	15,000
		運動会	2,000
		月刊青島	12,000
4. 銀行利子見込	0	納涼会	35,000
		公認同好会支援	24,000
5. イベント寄付	0	4. 催事費用(総会・クリスマス会)	125,000
		5. 日本人学校支援費	300,000
		6. 文化関連費	72,000
		7. 情報整理(HP改修等)	5,000
		8. 活動予備費	30,000
		9. 次年度繰越金	500,494
【 合計 】	1,494,134	【 合計 】	1,494,134